

## 第1回 火災防護検討会 議事録

1. 日時 平成16年7月16日(金) 13:30~15:30

2. 場所 日本電気協会 4階 A会議室

3. 出席者(敬称略,五十音順)

出席委員:内藤主査(中部電力),大倉(日立製作所),角谷(三菱重工業),島(北陸電力),  
増田(中国電力),三原(四国電力) (6名)

代理出席委員:伊東(東京電力・田中代理),江島(九州電力・笠代理),玉手(北海道電力・  
荒木代理),高岡(日本原電・長橋代理),山田(東北電力・熊谷代理),吉田(電  
源開発・河野代理),吉永(関西電力・今井代理) (7名)

欠席委員:納本(東芝) (1名)

常時参加者:村田(関西電力)

事務局:平田

4. 配布資料

資料No.1-1-1 (社)日本電気協会 原子力規格委員会について

資料No.1-1-2 日本電気協会 原子力規格委員会 規約

資料No.1-1-3 規格策定基本方針

資料No.1-1-4 規約に基づいた規格の制定に関する検討のお願い

資料No.1-1-5 安全設計分科会委員名簿

資料No.1-1-6 安全設計分科会 規格改廃要否の検討及び平成15年度活動実績,  
平成16年度活動計画

資料No.1-2 安全設計分科会・火災防護検討会の進め方について(案)

資料No.1-3 海外火災防護指針類の改定・発行に関する動向

資料No.1-4 JEAG4607 前回改定時の火災防護検討会の活動概要

参考資料 火災関連不適合一覧(1999.4~2004.6)

5. 議事

(1) 出席者紹介について

第1回検討会の開催に際して,出席委員全員の自己紹介があった。

(2) 原子力規格委員会の活動状況について

事務局より,資料No.1-1-1からNo.1-1-6に基づき,委員会規約,規格策定基本方針など前身の  
原子力専門部会と異なるところを中心に原子力規格委員会の活動状況及び原子力規格委員会で  
承認された平成16年度検討会活動計画などの説明があった。

(3) 主査の選出について

原子力規格委員会 分科会規約に基づき、委員の出席が3分の2以上であることを確認した上、火災防護検討会主査の選任を行った。角谷委員より分科会規約第13条3項により、検討会主査候補者として中部電力 内藤委員の推薦があり、他に検討会主査候補者の推薦がないことを確認した後、挙手による決議を行った結果、賛成13名で内藤委員が主査に選任された。なお、副主査は後日指名することとした。

(4) 火災防護検討会の進め方について

内藤主査より、資料No.1-2に基づき、「JEAG4607-1999 原子力発電所の火災防護指針」改定の基本方針、検討項目及び改定スケジュールの説明があった。

本検討会の進め方については、IAEA NUSS の改定版が今年中に発行予定であることを勘案して、今年度は国内法規類、新知見・新技術の検討を行い、来年度は今年度の検討を基に海外安全指針類の反映の可否について検討を行うこととした。1999年版作成時に行った海外プラントの実態調査については、改定案の内容を勘案して、実施の可否を含めて別途検討することとした。また、資料No.1-2に添付されているフォーマットを用いて関連法令改定による JEAG 改定の可否について各委員で検討することとした。

(5) 海外火災防火指針類の改定・発行に関する動向について

角谷委員より、資料No.1-3に基づき、NUREG 及び IAEA NUSS などの火災防護に関する海外規格類の改定・発行動向について説明があった。

(6) 「JEAG4607-1999 原子力発電所の火災防護指針」前回改定時の活動概要について

角谷委員より、資料No.1-4に基づき、今回の活動の参考のためにとの前置きがあり、「JEAG4607-1999 原子力発電所の火災防護指針」1999年版の改定作業活動状況について説明があった。それについて、内藤主査より、前回の改定活動状況を基本としてこれからの改定作業を進めていきたいとの意見が出された。

(7) 火災関連の不適合事例について

内藤主査より、参考資料に基づき、国内原子力プラントで発生した火災に関連する不適合事象事例の説明があった。これらの不適合事象の反映事項を含め指針に反映すべき設計事項があれば、各委員から本検討会へその内容を報告し、それが改定案へ反映することが必要か否か検討していくこととした。

6. その他

今回の火災防護検討会は、9月中旬で別途調整することとした。

以上